

事業所における自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|----------|----|---|----|-----|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | 1回のご利用児童数を4名までとしている。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか | ○ | | 子ども一人につき、1名の担当職員がついているという点はとても良いと感じる。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか | ○ | | パーテーションを使い集中できる空間を作る。音に敏感なお子さんのために別のタイマーを使用している。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | ○ | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか | ○ | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | 年2度の職員面談の実施、月例ミーティング、日々の情報共有など、職員間の意見交換の場は多く設定している。 |
| | 7 | 保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか | ○ | | 毎年、保護者の方からいただいたご意見を無駄にすることのないよう、業務改善につなげるべく努めている。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか | ○ | | 毎日のミーティングや月に一度のミーティングで意見交換の場を設けている。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | 今後外部評価を受けたいと考えて、検討している。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか | ○ | | WEB研修を活用により、外部、内部の研修を幅広く取り組むことができている。研修を受けたものは、他職員に内容について報告を行っている。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか | ○ | | HPに掲載。 |
| | 12 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | 担当者会議を実施し、情報共有を行っている。 |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討がおこなわれているか | ○ | | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか | ○ | | |
| | 15 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか | ○ | | ポータルプログラムを活用し、支援者が個別に管理し、日々共有している。 |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○ | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | 年間計画に基づき、職員全体で話し合い、月ごとに「制作」「感触遊び」を企画・実施している。また、利用児童ごとに小集団活動を担当職員で内容の相談をしながら行っている。 |
| | 19 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援をおこなっているか | ○ | | 基本的には前半を個別活動、後半を集団活動としているが、子どもの状況に応じて臨機応変に行っている。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか | ○ | | 1日4コマの活動の中、一コマごとのチームで相談し、役割分担を行い支援を行い、振り返りをその日のうちに行っている。他職員に知らせるべき内容であれば、即日、共有をしている。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか | ○ | | |
| | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか | ○ | | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療関係等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか | ○ | | |

| | | | | | | |
|--------------|---------|---|---|---|---|-------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | | 保護者のご要望に伴い、こまめに連携を行っている。 | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | | | |
| | 28 | (28～30は、センターのみの回答のため、省略) | | | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか | ○ | | | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でほかの子供と活動する機会があるか | | ○ | | |
| | 33 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報共有を行っているか | ○ | | 今年度より、ペアレントトレーニングを集団クラスと個別クラスを設け、行っている。その他、保護者会の実施により、各種情報提供の機会を設けている。 | |
| 保護者への説明等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | 入所手続きの際に、説明書の読み合わせ等、丁寧に行うよう努めている。 | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか | ○ | | | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○ | | | |
| | 38 | 定期的に、家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか | ○ | | 父母の会（おしゃべりサロン）の開催が保護者同士の交流のきっかけになっている様子を拝見し、嬉しく思っている。今後とも家族の関心ごとにアンテナを立て、いろいろな企画を立てていきたいと考えている。 | |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | 活用していることが、保護者に伝わっていないと感じている。情報発信の仕方を工夫する必要がある。 | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | ○ | | 個人情報については職員室外への持ち出しを禁止、鍵付き書庫へ収納している。退社時には施錠の確認をしている。 | |
| | 43 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | ○ | 当事業所の営業スタイルとして地域住民を招待することは難しいと考えている。ほかの形で地域の方々とは交流を図り、閉ざされた事業所にならないように配慮している。 | |
| | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | ○ | | | |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | ○ | | | |
| | 非常時等の対応 | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | 現在まで飲食の提供はしていません。 |
| | | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか | | | |
| 50 | | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか | ○ | | | |
| 51 | | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方向について検討をしているか | ○ | | ヒヤリハットは当日中に共有をしている。再発防止の検討は危険度の度合いにより、即日～近い月例会議を利用している。 | |
| 52 | | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | |
| 53 | | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | ○ | | | |